サポート情報記事

List Filter Online: ソリューションの概要

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

List Filter Online が動作する場所 5

パッケージの内容 5

テナント内のあらゆるサイトのデータ 5

ユーザーに表示される内容 6

主な機能 7

ライセンス 9

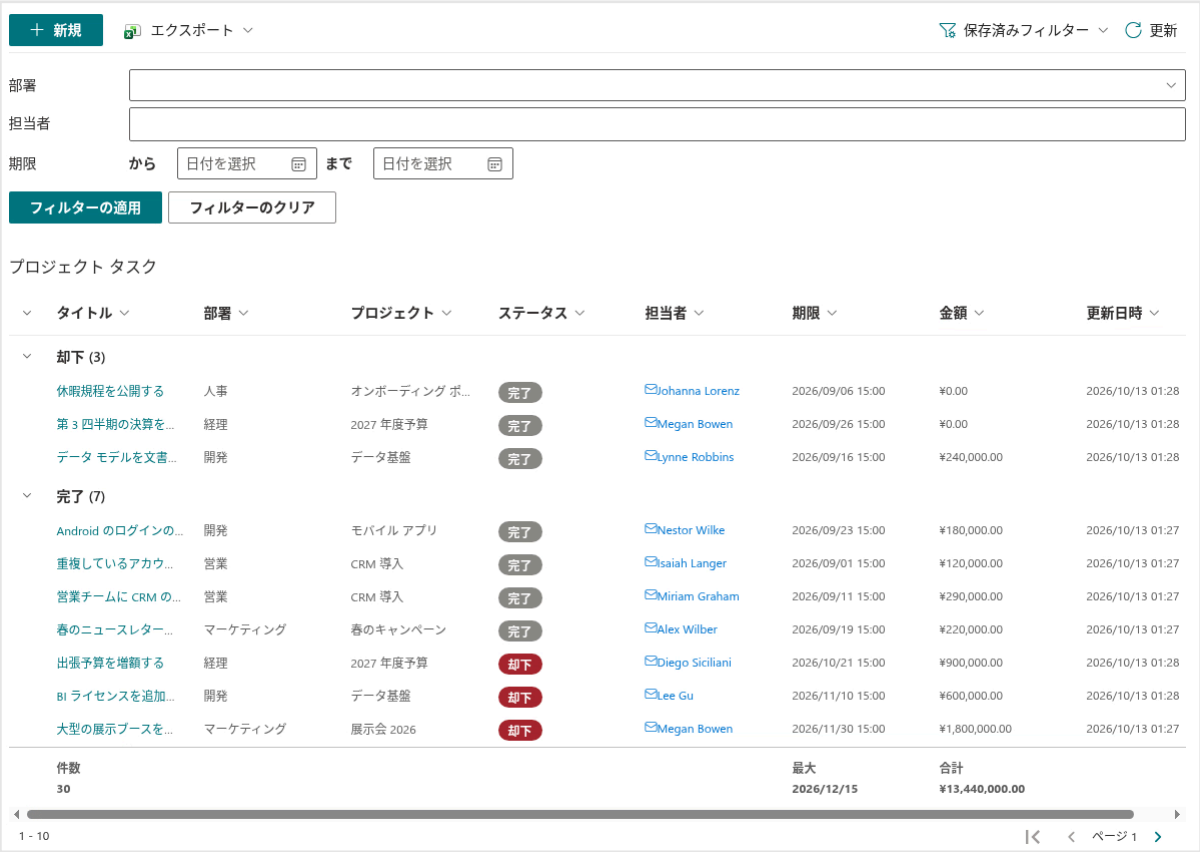
次のステップ 10

用語 11

はじめに

SharePoint のリストは、増え続けると、誰も必要な項目を見つけられなくなります。組み込みのビューには検索ボックスと列ヘッダーのメニューがありますが、「この顧客の契約のうち、前四半期に締結され、自分の部門が担当しているものすべて」を探すユーザーは、複数のメニューを順に開く必要があり、次のユーザーもまったく同じ操作を繰り返さなければなりません。List Filter Online は、この作業をフィルター ウィンドウに置き換えます。管理者が重要な列と、それぞれの列に使用するコントロールを選択すると、ユーザーはドロップダウン、日付範囲、ユーザー選択、その他のおなじみのコントロールでリストをフィルターし、その結果を保存して、リンクとして共有できます。

List Filter Online は、モダンな **SharePoint Online** ページ用の SharePoint Framework Web パーツです。リストまたはドキュメント ライブラリの項目を、専用のコマンド ツールバー、フィルター ウィンドウ、項目メニューを備えたテーブルに表示し、テナント内のあらゆるサイトからデータを取得できます。この記事では、このソリューションが動作する場所、パッケージの内容、ページ上でユーザーに表示される内容、管理者が有効にできる機能について紹介します。



SharePoint Online ページ上の List Filter Online Web パーツ

List Filter Online が動作する場所

List Filter Online は、単一のパッケージとして アプリ カタログから **Microsoft 365** テナントに展開され、追加のアクティブ化を行わなくても、テナントのすべてのサイトで利用できるようになります。Web パーツは次の場所に配置できます。

- 任意のモダン ページ (**サイト ページ**、**ニュース投稿**、ホーム ページ) の、通常のセクションまたは複数列のセクション。
- **リスト** ビューがページの唯一のコンテンツとなる、単一パーツのアプリ ページ。

Web パーツは、ダーク テーマやページ セクションの配色バリエーションを含め、サイトのテーマに従います。インターフェイスは 40 を超える言語で利用でき、ユーザーの言語に応じて自動的に選択されます。

> メモ
>
> List Filter Online はモダン ページのみをサポートしています。クラシック ページには追加できません。

パッケージの内容

ソリューション パッケージには、2 つのコンポーネントが含まれています。

。 ページ エディターのツールボックスでは、**ドキュメント、リスト、ライブラリ** グループの **List Filter** として表示されます。リストを表示するコンポーネントであり、この記事の主題です。

List Filter で開く リスト コマンド。 同じパッケージにより、標準のリストとライブラリのコマンド バーに **List Filter で開く** コマンドが追加されます。ユーザーが通常のリスト ビューで項目を選択してこのコマンドを実行すると、List Filter Web パーツを含むページが新しいタブで開き、選択した項目で自動的にフィルターされます。このコマンドは、SharePoint 管理者が Web パーツをホストするページを指定し、ユーザーが少なくとも 1 つの項目を選択した場合にのみ表示されます。設定方法については、KB10254. SharePoint 標準のリストから選択した項目を List Filter Online で開くを参照してください。

テナント内のあらゆるサイトのデータ

Web パーツは、配置されているサイトに縛られません。管理者はプロパティ ウィンドウの **データ ソース** グループで **スコープ** として **現在のサイト** または **他のサイト** を選択します。別のサイトの場合は、**サイト** ピッカーで名前または URL からサイトを検索します。その後、そのサイトのリストまたはライブラリを選択し、表示する列を選択します。

List Filter Online は、現在のユーザーに代わって、SharePoint 標準の REST APIを使用してデータの読み取りと書き込みを行います。追加の API アクセス許可は不要で、グローバル管理者による承認も必要ありません。ユーザーには、リスト自体で表示が許可されている項目だけが表示されます。

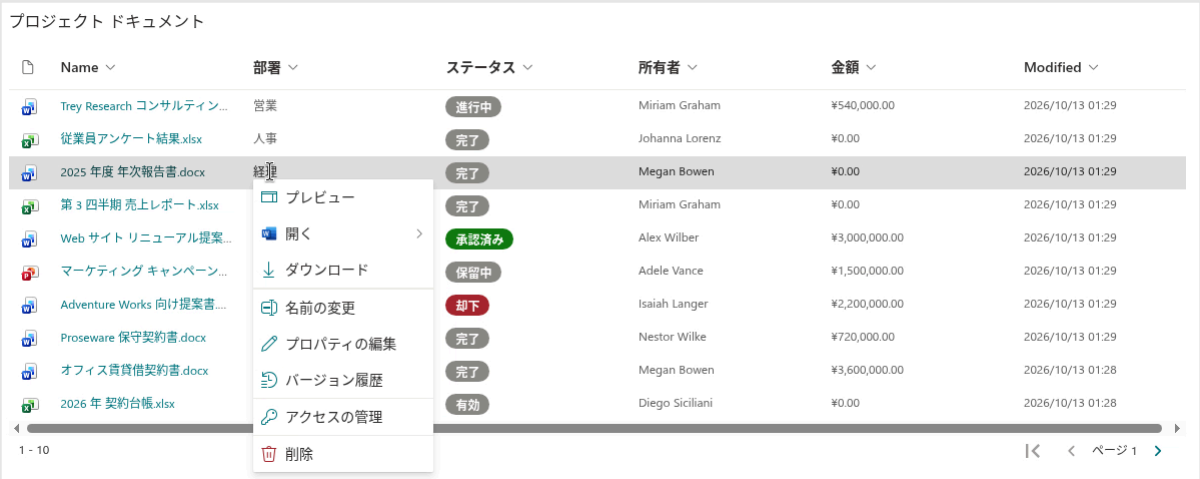
警告

List Filter Online は、リストのビューを使用しません。ビューを選択する代わりに、表示する列を選択し、並べ替え、グループ化、フィルターを Web パーツで構成します。また、この Web パーツはページ上の他の Web パーツに接続できず、単独のツールとして動作します。

ユーザーに表示される内容

Web パーツは 3 つの領域で構成されています。上部の**コマンド ツールバー**には、**新規**、**エクスポート**、**保存済みフィルター**、**更新** の各コマンドがあります。どのコマンドを表示するかは管理者が決定し、ユーザーにアクセス許可のないコマンドは自動的に非表示になります。**フィルター ウィンドウ**には、フィルター コントロール、**適用** ボタン、アクティブなフィルターを示すフィルター チップ (それぞれに個別のクリア ボタンがあります)、**すべてのフィルターをクリア** リンクがあります。**結果テーブル**は常に表示され、選択した列、グループ、集計と、上部または下部のページング コントロールが表示されます。

ナビゲーション オプションがオンの場合、テーブルの上にパンくずリストが表示されてライブラリ内のパスを示し、ユーザーはフォルダー名またはパンくずリストをクリックしてフォルダー間を移動します。



結果テーブル内のドキュメントのコンテキスト メニュー

さらに 2 つのコンテキスト メニューがあります。列のヘッダーを開くと、並べ替え、フィルター対象の値の一覧、**フィルターのクリア** を含むメニューが表示されます。項目のメニューには、標準のリストでおなじみのアクションが表示されます。**開く**（Office ファイルはブラウザーまたはデスクトップ アプリで開けます）、**プレビュー**、**名前の変更**、**プロパティの編集**、**ダウンロード**、**アクセスの管理**、**バージョン履歴**、フォルダー用の **フォルダーの色**、**削除** です。表示されるアクションは、ユーザーのアクセス許可によって異なります。

主な機能

フィルター ウィンドウ。 管理者は、列ごとに、列の種類に適した 11 種類のフィルター コントロールから 1 つを選択します。**テキスト**、**テキスト (オプション付き)**、**ドロップダウン**、**ドロップダウン (複数の値)**、**日付ピッカー**、**日付範囲**、**相対日付**、1 人または複数のユーザーを選択できる **ユーザーまたはグループ**、1 つまたは複数の用語を選択できる **用語**、**数値範囲**、**はい/いいえ** です。詳細は、KB10255. List Filter Online のフィルター ペイン コントロールとサポートされる列の種類を参照してください。

クエリ ビルダー。 ユーザーがフィルターできる内容とは別に、管理者は **フィルター** グループで作成した事前定義のフィルターによってデータを制限できます。条件は AND/OR のグループに組み合わせることができ、グループは入れ子にできます。オペランドには、静的な値のほか、現在のユーザーや過去 X か月などの動的な値を使用できます。結果は **CAML** クエリになります。KB50025. List Filter Online のクエリ ビルダーで複雑なクエリを作成する方法を参照してください。

列。 すべての列に、独自のキャプション、順序、動作 (サイズ変更可能、折りたた

み可能、フィルター可能、並べ替え可能、項目へのリンク) と、表示形式を設定できます。表示形式には、日付のみ、日付と時刻、相対日付、リンクの有無を選べるルックアップ、ユーザー名 (画像付き、または画像と詳細付き。名前をクリックするとプロファイル カードが開きます)、3 つのサイズのサムネイルと画像があります。KB10258. List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプションを参照してください。

リストの列の書式設定。 **リストの列の書式設定を使用する** をオンにすると、Web パーツはリスト自体に定義された列の書式設定 **JSON** を描画します。そのため、色付きの状態ラベル、バー、アイコンが標準のビューと同じように表示されます。KB10259. List Filter Online での SharePoint 列の書式設定 JSON の使用を参照してください。

グループ化、並べ替え、集計。 項目は 2 つの列で並べ替え、2 つの列でグループ化できます。グループ見出しが表示されるのは第 1 レベルのみです。読み込み時にはグループが展開され、ユーザーが手動で折りたためます。集計 (カウント、合計、平均、最小、最大、標準偏差、分散) は、グループごとではなく、テーブル下部の 1 行のフッターに表示されます。KB10260. List Filter Online でのグループ化、並べ替え、集計を参照してください。

フォルダー。 ライブラリは、フォルダー構造のまま表示することも、フォルダーなしのすべてのドキュメントのフラットな一覧として表示することも、すべてのレベルのフォルダーとドキュメントをまとめて表示することもできます。KB10261. List Filter Online でのフォルダーの操作: フォルダー ナビゲーション、フラット ビュー、階層リンクを参照してください。

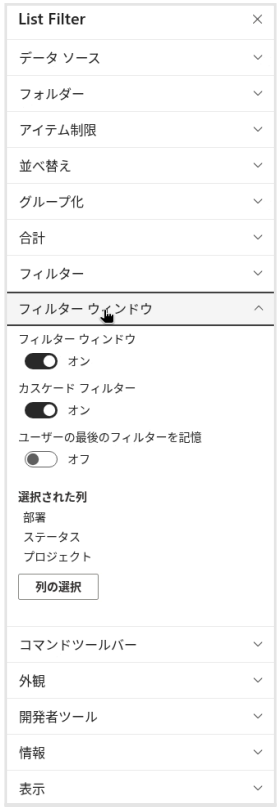
保存済みフィルターとフィルター リンク。 ユーザーはフィルターの組み合わせに名前を付けて保存し、**保存済みフィルター** メニューから呼び出せます。**フィルターへのリンクをコピー** を使用すると、同じフィルターが適用された状態でページを開くリンクが生成されます。また、Web パーツはユーザーが最後に使用したフィルターを記憶できます。KB10253. List Filter Online でフィルターを保存し、フィルター済みビューのリンクを共有するを参照してください。

カスケード フィルター。 **カスケード フィルター** をオンにすると、ドロップダウンに表示される値が、他のコントロールで選択済みのフィルターによって絞り込まれます。これにより、結果が空になる組み合わせを減らせます。ただし、空の結果を完全に防ぐものではありません。KB10256. カスケード フィルター: 選択済み

の他のフィルターによるドロップダウン　オプションの絞り込みを参照してください。

Excel へのエクスポート。 **エクスポート** コマンドを使用すると、現在のページ、すべての項目、または選択した項目を Excel ブックに保存できます。項目はグループ化された順序で出力されますが、グループ見出しは個別の行として出力されません。集計行が含まれるのは **すべてのアイテム** をエクスポートする場合のみです。KB50022. SharePoint リストを Excel にエクスポートする方法を参照してください。

項目のアクション。 ユーザーは項目のコンテキスト メニューから、バージョン履歴を開いて以前のバージョンを復元したり、ドキュメントをダウンロードまたは名前変更したり、アクセスを管理したり、フォルダーを 16 色のいずれかで色分けしたりできます。KB50010. SharePoint Online でフォルダーに色を付ける方法を参照してください。



設定グループが表示された Web パーツのプロパティ ウィンドウ

ライセンス

List Filter Online は、試用期間付きでインストールされます。プロパティ ウィンドウの **アプリの詳細** グループには、ライセンスの **状態**、Web パーツの **バージョン**、サブスクリプションの **開始日**、割り当てられている **テナント** が表示されます。試用期間が終了すると、サブスクリプションが有効になるまで、Web パーツはリストの代わりに通知を表示します。

次のステップ

ヒント

パッケージの展開と Web パーツのページへの配置については、KB10251. List Filter Online のインストールとページへの追加方法を参照してください。プロパティ ウィンドウのすべての設定は KB10201. List Filter Online Web パーツの構成で、フィルターを使った日常的な操作は KB10252. List Filter Online: エンド ユーザー向けクイック ガイドで説明しています。

用語

CAML

Collaborative Application Markup Language (CAML) は、SharePoint で、リスト、ドキュメント ライブラリ、ビュー、コンテンツ タイプ、フィールド、データ レンダリング要素などのデータ定義オブジェクトを定義するために使用される、大文字と小文字を区別する XML ベースの言語です。たとえば、CAML を使用して、リストやライブラリからデータをフィルター処理して取得するクエリを作成できます。

JSON

JSON (JavaScript Object Notation) は、人間が読み書きしやすく、ソフトウェアが解析および生成しやすい、軽量なテキストベースのデータ交換形式です。構造化データを交換するために、REST API、構成ファイル、Web アプリケーションで広く使用されています。

Microsoft 365

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

サイト

用語

SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

サイト ページ

サイト ページは、セクション、列、Web パーツで構成されるモダン SharePoint ページで、サイトの [サイト ページ] ライブラリに格納されます。サイト ページは、情報、ニュース、その他のコンテンツを共有するために使用されます。

ニュース投稿

ニュース投稿は、組織内の他のユーザーとお知らせ、状況の更新、ストーリーを共有するために使用される、[ニュース投稿] タイプのサイト ページです。ニュース投稿は、ニュース Web パーツと SharePoint スタート ページに表示されます。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。